

(様式4)

学校番号	32	学校名	県立大洗高等学校	全日 定時
------	----	-----	----------	-------

平成27年度道徳教育全体計画

諸法規		校訓		生徒の実態	
日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 教育諸法規		若き日に己を見つめ 心身の啓発と友との協和に 心がけよう 今日の一日を大切にし 輝ける明日を創ろう		進学を希望する生徒が約3割、その他は就職希望している。生徒は、基礎的・基本的な学力に加え、就業体験や奉仕活動の経験を通して、社会人としての必要なモラルやマナーを十分に身につけることが課題となっている。	
保護者の願い		学校の教育目標		地域の実態	
基本的な生活習慣を確立し、社会人として主体的な行動がとれるようになること。一人一人が就職・進学へ自らの進路を実現できること。		・基礎的な生活習慣の確立及び規範意識の高揚 ・学習意欲を高め、基礎学力の定着 ・生徒一人一人の資質・適正にあった進路実現 ・特別活動の充実 ・地域との連携を深め、開かれた学校づくりを推進 ・学校の実情、生徒の実態に応じた指導体制の構築		大洗町唯一の高等学校であり、地元の協力を得ての教育活動がしやすい。	
各教科・科目		道徳教育重点目標		生徒指導	
国語	適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにする。	・生徒の発達段階に応じた人間の在り方生き方に関する教育を実践する。 ・生徒が自ら考え、自覚を深めて自己実現できるよう指導の計画や方法を工夫する。 ・自分自身の生き方や夢や理想の実現に向けて主体的に学ぶ。		基本的生活習慣を確立させるため、マナーアップ活動・あいさつ指導・服装指導の充実を図る。 また、校内外の巡視を実施するとともに、家庭訪問や地域との連携を図る。	
地歴	我が国及び世界の形成の歴史や生活・文化の特色についての認識・理解を深め、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。	総合的な学習の時間		家庭との連携	
公民	人間としての在り方生き方についての自覚を育て、民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。	「道徳」(第1学年)		家庭と学校とが連携して教育にあたる必要不可欠であることから、相互に連絡・報告・相談を密にして、協力体制を確立する。	
数学	数学の概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、積極的に活用する態度を育てる。	自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力を養う。また、自己の在り方生き方を考えるとともに、学習や生活に生かし、総合的に働くようにする。		地域社会との連携	
理科	自然に対する関心や探究心を高め、科学的に探求する能力と態度と自然観を学び、それらを日常生活に積極的に活用する態度を育てる。	(基本的な在り方) 心身の調和のとれた発達、個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする、自主的・実践的な態度を育てる。人間としての在り方生き方についての自覚を深め、様々な集団での他者とのかかわりにおいて自己を生かす能力を養う。		豊かな心を育成するための講演会・体験活動・奉仕活動の展開にあたっては、積極的に地域社会やPTAに協力を依頼する。また、その成果については、広報紙「学校だより」・PTA会報「長峯」・校内新聞「つなみ」などで公開する。	
保健体育	健康・安全や運動についての理解と運動実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力育成と体力向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。	特別活動			
芸術	音楽に関する専門的な学習を通して、創造的な表現に必要な知識や技術を習得させるとともに、豊かな感性と音楽文化の発展に寄与する態度を育てる。芸術の幅広い活動を通じ、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、豊かな情操を養い、道徳性の基礎を養う。	ホームルーム活動(第2学年以降)			
外国語	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や相手の意向などを理解したり、自分の考えなどを表現したりする。異文化を理解し、共に生きていく態度を育てる。	生命尊重・平和教育・日本の文化・伝統を学び、国際的野にたって物事を考える力を養う。(2学年)			
家庭	人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。	第1学年及び第2学年で学んだ総合的な学習の時間の仕上げとして適切な勤労意義・勤労の尊さを理解する。また奉仕の精神・公共の福祉・社会貢献について学び、適切な進路選択の知識を身に付け、自己の在り方生き方を考える。(3学年)			
情報	情報及び情報技術を活用するための知識と技能の習得を通して、科学的な見方や考え方を養い、情報化の進展にモラルやマナーを守り、主体的に対応できる能力と態度を育てる。				
選択					
専門					

